

東京専従日誌

全日本教職員連盟
事務局次長 原井 和彦



「香川の声を全国に届けます！」

東京は、少しずつ朝夕の寒さが増し、温かいものが恋しい季節になってきました。讚岐富士もちらほらと紅色に変わりつつある頃ではないでしょうか。

香教連の会員の方から、「今は、東京でどんなことをしよう?」と、よく質問されるので私共、全日教連の仕事の一部を紹介します。

まず、国の動きとしては、八月末に各省の概算要求(予算の原案)が財務省に出されます。それを受けて財務省と各省で説明・調整を行い、十一月中旬頃に財務省から原案が各省に示されます。その後、一月から三月に国会で審議され予算案が成立する流れになります。

そこで、私たち香教連が加盟している全日教連では、教育行政に関わる省庁や国会議員に対して、予算確保が行われるように要望活動を行っています。具体的には、特に要望している内容として多忙化解消に資するスクール・サポート・スタッフや部活動指導員の配置について、予算確保ができるようにすることや、教員の勤務の実態に見合った適切な教職調整額の見直し等の要望を行ってきました。国会議員の方々は、要望に対して真摯に耳を傾けてくださり、「先生方の残業時間の問題は、残業時間を減らせるように進めないといけないな。」という意見をいただきました。

前述した「どんなことしよん?」の答えとしては、教育諸課題について香教連の多忙化解消の実現という声を国へお届けすることだと考えています。そのためにも現場で日頃感じておられる生の声をお寄せいただけると大変ありがたいです。よろしくお願いたします。

全日教連専門部長・副部長会議開催



十月十四日(日)、平成三十年度専門部長・副部長会議が、東京都都市センターホテル六階第六〇六会議室で開催された。香教連からは、安本薫委員長、安部忠明特別支援教育部部長(牟礼北小)、安富慶幸幼児教育部部長(一宮幼)の三名が出席した。

まず全体会では、郡司委員長より『「総合的な学習の時間」における学校外学習の位置づけの明確化』についての説明があった。その後、中道事務局長より、「中央情勢報告」、島村事務局次長より、「二〇一九年度文部科学省概算要求について」報告があった。

次に、八つの各部会に分かれて、第三十六回定期大会議案書(専門部活動方針)の内容や、文部科学省への要望内容の検討、さらに二〇一九年度の活動計画などについて協議した。

最後に、各部総括報告として、協議したことを全体で報告・確認した。



第四回会長・事務局長会議開催



十月二十日(土)香川県教育会館第一・二会議室において、第四回会長・事務局長会、第二回執行委員会、第一回人事対策委員会を開催した。

安本薫委員長の挨拶の後、十月までの行事・活動について報告した。また、全日教連から原井和彦事務局次長にも出席していただき、国の動向等について報告していただいた。

次に、十一月以降の行事や県知事要望・県議会議員要望の内容などについて議論した。その後、引き続き第一回人事対策委員会を行い、今年度の人事異動に関わる内容について協議・確認した。



香川県教職員連盟 Facebook開設中!



二日 公益財団法人日本教育公務員弘済会香川支部 第一次論文審査会(香川県教育会館)

一日 香川県人事委員会勧告説明会(人事委員会) 坂出評議員会(勤労福祉センター)

十四日 全日教連専門部長・副部長会議(東京)

十五日 全日教連中央要請行動(東京)

十九日 先生のためのマナーセミナー (FPラボ丸亀事務所)

二〇日 第四回会長・事務局長会 第一回人事対策委員会

第二回執行委員会(香川県教育会館)

二三日 公益財団法人日本教育公務員弘済会香川支部 第二次論文審査会(香川県教育会館)

二七日 高松・小豆・直島との交流会・小中懇親会 (高松市)

三〇日 香川県知事要望(県庁本館知事応接室) 香川県議会要望(香川県議会議事堂議長応接室) 高松評議員会(香川県教育会館)

